

千西一週

号外

発行2018年10月31日

上田西高校新聞委員会

編集局長 下谷梓

宮島純夏 羽毛田莉歩 中村泉咲
奈良本梓

上田西 連覇へ王手

松本第一を退け、創部初の2年連続選手権大会長野県予選決勝へ



10月27日(土)に松本市のサンプロアルウィンにて第97回全国高等学校サッカー選手権大会長野県予選決勝が行われ、前回の覇者で大会連覇を狙う上田西は松本第一と対戦。延長までもつれる接戦となったこの試合は、延長後半6分にDF藤田英輝による均衡を破る劇的な得点が決勝点となり、見事上田西が勝利した。上田西の次戦は準決勝で松商学園に逆転勝利を収めた東京都立大塩尻と、全国大会の切符を賭けた決勝戦は11月3日(土)12時よりサンプロアルウィンで行われる。

▽全国高等学校サッカー選手権大会長野県予選決勝

延長後半	延長前半	後半	前半	上田西	松本第一
1	0	0	0	1	0
0	0	0	0	0	0

得点
上田西 藤田英輝
(延長後半6分)

松本第一の選手と競り合う上田西の主将FW田中悟(写真右) 撮影=奈良本梓

上田西 スタートメンバー



MF金子恭介選手を抑えたい」と話した。今年のチームは去年に比べ緊張しやすいという。連覇へかかる期待を意識しすぎず、去年は去年、今年は今年と割り切ってプレーしていくことが大切となるだろう。田中主将は決勝に向けて「気持ちで負けず先制点を取って流れを作ってきた」と意気込んだ。(羽毛田莉歩)

3年ぶりの頂点を狙う東京都市大塩尻高校との今期の戦績は1勝2敗。総体では上田西が3対2で勝利、リーグ戦では2度対戦し、いずれも1対2で敗れている。これまでの両校は都市大塩尻が14得点失点、上田西が15得点失点とほぼ互角。上田西の主将FW田中悟は「都市大塩尻は個々の技術が高く、技術面では負けている」と分析。都市大塩尻の得意とするサイド攻撃に対して白尾

監督は「東海大相模、宮崎日大、清水エスパスU-18など強豪との練習試合を重ねたので自信を持つことができるはず」とディフェンス面に自信を見せた。さらに、「PK以外で失点していないので、なんとしても1点をとって安定した試合をすることが重要となる」と続けた。準決勝で決勝ゴールを挙げたDF藤田は都市大塩尻について「フロントの相手FWと10番のMF金子恭介選手を抑えたい」と話した。

決勝は東京都市大塩尻高校と 今季負け越しの相手 先制点が勝利へのカギか

藤田、延長後半 劇的弾



延長後半6分の得点の瞬間。MF井出大輔のロングスローからDF藤田英輝(写真左)が頭で合わせた。撮影=宮島純夏

昨年同様、今年も松本第一と準決勝で対戦した上田西。今年も1点を争う緊迫した試合となった。前半、後半ともに両校に点が入ることなく、試合は延長戦へ突入。2年連続のPK戦が現実味を帯びてきたが、西高生待望の瞬間は延長後半6分に訪れた。MF井出大輔が投げたロングスローにDF藤田英輝が反応。直接頭で合わせるボールは相手GKの手には当たらず、ゴールに吸い込まれた。得点を決めた藤田はこのシーンを「練習してきた得点ターンの期待がかかる。」(下谷梓)

と話す。白尾監督は「何度もあったチャンスがなかなかのになかった」と試合を振り返ったが、練習してきた成果がしっかりと発揮された点であった。藤田自身も、「前半はうまくいかなかったが、後半は積極的にゴールを狙っていった」と苦しみながらも競り勝った試合を振り返った。昨年はFWとして全国のピッチを経験していた藤田だが、監督の「守りからチーム勝利へ貢献してほしい」という話を受け、DFに専念。ポジションはDFの藤田だが、昨年の田高選手と同様今年も井出がロングスローからのセットプレーでチャンスを演出し、CBでコンビを組む小宮山とともに強さを生かした攻撃を仕掛ける。セットプレーは決勝でも1つの得点源となるだろう。伝統の「堅守速攻」は今年も健在。また、昨年と同様に、チームは「全員守備・全員攻撃」を掲げている。チームコンセプトを体現する藤田を始めとする上田西イレブンに創部初の連覇の期待がかかる。